

U20 陸上競技大会(2025 in 静岡) 競技注意事項(9/3 掲載)

1 競技規則について

本大会は、2025年度日本陸上競技連盟規則および、競技会における広告および展示物規程、並びに本大会の申し合わせ事項による。また、本大会はWRk対象競技会として実施する。

2 競技場について

- (1) 競技場の競走路および助走路は、全天候舗装である。
- (2) スパイクシューズのピンの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は、12mm以下とする。これらのピンの直径は、4mm以上で、数は11本以内とする。【TR5.2】

3 練習会場について

- (1) 練習は指定された会場で、【練習会場での注意事項】を熟読の上、実施すること。
- (2) 競技場内での練習は競技役員、練習会場については係の指示に従うこと。投てき練習については実施できない。

4 招集について

- (1) 招集所は、第4ゲート(100mスタート側ゲート)付近に設ける。
- (2) 種目別の招集開始・完了時刻は、競技日程を参照のこと。
- (3) 招集方法については、次の通りとする。
 - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用靴のスパイクピン及び競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ類の商標点検を受ける。その際、トラック競技の競技者のみ腰ナンバー標識(2枚)を着用する。
 - ② ビデオ・ラジオ・CDプレーヤー・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。【TR6.3】
 - ③ 代理人による招集の最終確認は認めない。
 - ④ 出場種目を欠場する場合は、TICに用意してある「欠場届」に必要事項を記入して、招集完了時刻までに招集所に提出すること。

5 競技について

- (1) ビデオ監察を使用し、判定を行うことがある。
- (2) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (3) 不正スタートについては、400mまでの種目では、判定の補助としてSIS(スタート・インフォメーション・システム)を使用する。
- (4) トラック競技の、100m、200m、100mH、110mHにおいては、決勝進出条件を満たした上位8位が決勝、決勝進出者を除いた記録上位8位がB決勝に進出することができる。
- (5) 走高跳を除くフィールド競技の計測は、全て光波距離計測器を使用する。
- (6) フィールド競技における競技場内での練習は、競技役員の指示により行う。公式練習は、跳躍2回、投てき3回とする。ただし走高跳の公式練習は、回数に関係なく複数の高さで時間を区切って行う。
- (7) フィールド種目の試技数については、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投は、全ての競技者に3回の試技が与えられる。試技3回終了時点の上位8名には、さらに3回の試技が与えられる。走高跳・棒高跳は、連続する3回の失敗試技で、競技終了とする。
- (8) フィールド競技は、走高跳を除いて主催者が用意したマーカーを置くことができる。走高跳のマーカーは各自が用意したもの(粘着テープ)とする。なお、使用したマーカーは、競技終了後各自で回収すること。
- (9) 棒高跳に出場する競技者は、希望する支柱の位置を予め「アップライト申告書(TICにて用意)」に記入して、招集所に提出しなければならない。また、競技開始後に、事前に届けた支柱の位置の変更を希望する場合は、試技時間に入る前に当該競技役員に申し出ること。なお、公式練習は、ゴムバーを使用して行う。

- (10) 三段跳の踏切板は、男子は13m・女子は10mで実施する。
- (11) 競技者に対する助言は、「コーチングエリア」で行うものとする。
- 本大会では、競技場所に接近したコーチングエリアから当該競技者に代わり競技区域の外にいる者によって録画されたそれ以前の試技の映像を見ることができ、映像機器を直接手で競技者に渡して操作することができる。但し、安全上の理由から走幅跳・三段跳（メインスタンド）については、スタンドから身を乗り出すようなことは禁止とする。（手渡し、自撮り棒や紐等も使用禁止。）【TR6. 4. 5】
- (12) 競技者は、審判員の許可を得ることなく、競技場を離れることはできない。【TR25. 19】
- (13) 競技用靴底（ソール）の厚さについて【TR5. 2】
- 競技用靴とは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
 - トラック競技、フィールド競技ともに20mm以下とする。
- ※WA競技用靴規程を適用し、適用除外とはしない。
- ※競技用靴については【TR5. 2】に基づいて実施する。必要に応じて、競技役員が競技用靴を競技前、競技中または競技後に検査することもある。
- 競技用靴の承認状況については、下記により最新のものを確認すること。
<https://certcheck.worldathletics.org> からメーカー名、モデル名で検索するか Full List から全承認済モデルを閲覧することができる。それぞれのモデルにおいて使用が許可されている種目が記載されている。APPROVED と表示されていても記載のない種目では使用できない。
- (14) 提出書類は、下記のとおりとする。これらはすべてTICで受け取ること。なお、TICは競技場正面入口内に設置している。

	提出書類	用紙提出場所	提出時間
1	欠場届	招集所	招集開始時刻まで
2	アップライト申告書	招集所	招集完了時刻まで
3	抗議申し立て(口頭)	TIC	競技注意事項6「抗議と上訴について」参照
4	上訴申立書	TIC	競技注意事項6「抗議と上訴について」参照
5	投てき用具検査申請書(預かり証)	TIC	招集開始1時間30分前から、招集開始時刻まで
6	記録証交付願	TIC	競技終了後、随時
7	プログラム訂正用紙	TIC	※日本陸連サイトよりエントリーのため、原則認めないこととする。

- (15) 走幅跳・三段跳においては、メインスタンド側をAピット・バックスタンド側をBピットとする。
- (16) 棒高跳においては、第3コーナー側をAピット・第2コーナー側をBピットとする。

6 抗議と上訴について【TR8】

- (1) 競技中に起きた競技者の結果または行為に関する抗議は、その種目の結果が正式発表（電光掲示板表示時刻）されてから30分以内、同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内に審判長に対して口頭でなされなければならない。抗議者は、TICを通して抗議担当総務員に申し出ること。
- (2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。審判長裁定を不服としてさらに上訴する場合は、競技者、当該競技者の監督またはチームの代表者により、預託金10,000円を添えて「上訴申立書」を抗議担当総務員を通じて Jury に提出しなければならない。なお、「上訴申立書」の提出時刻は、審判長による説明から30分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内）とする。また、Jury の裁定後に新たな変更可能な決定的証拠が提示された場合は、裁定を再考するが、それ以外の場合では、Jury の裁定に従わなければならない。

7 アスリートビブス（以下ビブス）について【TR5. 7】

ビブスは配布された大きさのものをユニフォームの胸部と背部につけること。折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。また、トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、腰の左右後方に着用すること。

8 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグ等を持ち込む場合について

- (1) 日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規程」を適用する。
- (2) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。
- (3) 競技者が使用する医療用テープまたは一般的なテープは無地に限る。どちらのテープにおいても商品名・ロゴが記載されたテープを使用する場合は、大会主催者へ書面で申請し承認される必要がある。

9 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用「ポール」以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、投てき器具において、通知した競技場備え付けの投てき用具リストにないもの及び、1個のものに限り、当日検査の上使用を認める。
※持ち込み希望者は、招集開始時刻1時間30前から招集開始時刻までに、TICで「投てき用具検査申請書」により申し出ること。ただし、検査に合格した用具については、「預かり証」を発行の上一括借り上げとし、出場者全員で共有できるものとする。また、借り上げた用具は、その競技終了後TICで返却する。なお、借り上げた用具が破損しても主催者は責任を負わない。
- (2) 練習用の個人の用具は、競技場内に持ち込んでではない。
- (3) 競技場に備え付けの投てき用具は、一覧表のとおりである。
- (4) ハードル種目の規格、投てきの重量は次の通りとする。

U20男子 110mハードル		U20女子 100mハードル	
高さ	ハードル間	高さ	ハードル間
0.991m	9.14m	0.838m	8.50m

投てき物	U20男子	U20女子
砲丸	6.000kg	4.000kg
円盤	1.750kg	1.000kg
ハンマー	6.000kg	4.000kg
やり	800g	600g

10 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方 (確認中 決定次第更新)

種別・種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	以降
U20男子走高跳									以降3cmずつ上げる
U20女子走高跳									以降3cmずつ上げる
U20男子棒高跳									以降5cmずつ上げる
U20女子棒高跳									以降5cmずつ上げる

- (1) 走高跳・棒高跳において、最後の一人になるまで上記の上げ方とする。
- (2) 天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、跳躍審判長が決定する。
- (3) 第1位が同成績の場合による順位決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。(TR26.9.4)

12 競技場への入退場について

- (1) 全ての競技者の入退場は、当該競技役員の指示に従うこと。
- (2) 決勝レースは、衣類等荷物を第1ゲート付近まで運搬する。
決勝レース終了後、1～3位の入賞者は、第1ゲート付近で更衣をし、誘導により表彰者控え所へ移動する。
- (3) 第1ゲートスタートの競技者は、競技終了後更衣をし、第1ゲートから退場する。
- (4) 第2ゲートスタートの競技者は、第1曲走路外側を通過して戻ること。第1ゲートから退場する。
- (5) 第3ゲートスタートの競技者は、正面玄関前を通過して第2曲走路外側を通過して戻ること。第4ゲートから退場する。
- (6) 第4ゲートスタートの競技者は、正面玄関前を通過して戻ること。第4ゲートから退場する。
- (7) 第3ゲートゴールの競技者は、棒高跳ピットとトラックの間を通過して戻ること。第1ゲートから退場する。
- (8) フィールド競技の競技者は、競技終了後、競技役員の指示に従って退場する。

9位以下の選手は、競技役員の指示により、第1または第4ゲートから退場する。1～3位の入賞者は、係の誘導で表彰者控え所へ移動する。

13 表彰について

- (1) 各種目の1～3位入賞者には賞状とメダル、4～8位の入賞者には賞状を授与する。
- (2) 1～3位の入賞者は、メインスタンド前中央で表彰する。雨天時は、正面スタンド下で表彰する。
- (3) 表彰式の服装は、チームジャージ(上半身はチームTシャツも可)で出席すること。(下半身はジャージ着用が望ましい)
- (4) 4～8位の賞状はTICで渡す。

14 その他

- (1) 大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、メイン競技場内の医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を必ず持参すること。
- (2) 競技中、明らかに競技続行が困難となった競技者に対し、競技者本人が競技続行の意思を表していても、競技者の生命・身体保護の観点から審判長もしくは医師の判断で競技を中止させることがある。
- (3) 荷物は各自で管理すること。紛失等の場合があっても責任は負わない。
- (4) 遺失物は、TICで保管する。
- (5) ベンチ・テントは、許可区域以外に設置しないこと。【ベンチ配置エリア】を熟読の上、設置すること。
- (6) メイン競技場内の横断幕及びのぼり旗については、【横断幕・のぼり旗の設置について】を熟読の上、設置すること。
- (7) 記録証の交付を希望する競技者は、TICに「記録証交付願」を提出し、交付料金500円を添えて申し込むこと。
- (8) 送付された棒高跳ポールは、第1ゲート用器具庫の手前階段下で保管しているので、各自で確認すること。
- (9) 会場内にゴミ箱の設置はなく、ゴミは各自で持ち帰ること。
- (10) 競技場内の撮影について、今大会は選手コーチ/一般観客含めてスマホ/タブレットでのみ撮影可能。スマホ/タブレット以外のデジタルカメラ、一眼レフカメラ、ビデオカメラ等の撮影は禁止とする。(大会主催者が認めた報道やオフィシャル撮影等のビブス着用者はこの限りではない)
- (11) 競技者受付について、競技場正面入口に設置する。受付時間は下記の通り。
大会前日：9月26日(金)12時50分～16時45分まで(正面入口から入った会議室内)
大会1日目：9月27日(土)7時30分～16時00分まで(競技場正面入口)
大会2日目：9月28日(日)7時30分～12時00分まで(競技場正面入口)

**第41回U20日本陸上競技選手権大会
投てき用器具リスト(2025年7月調べ)
(Throwing Equipment List)**

男子ハンマー(Men Hammer) 6. 000kg

ニシ製(Nishi)	NF241A φ105 タングステン入	3	
ニシ製(Nishi)	NF241 φ116 スチール	4	

女子ハンマー(Women Hammer) 4. 000kg

ニシ製(Nishi)	NF210 φ102 スチール	3	
ニシ製(Nishi)	F210A φ95 ダグタイル	1	
ニシ製(Nishi)	F210 φ95 スチール	1	

男子砲丸(Men Shot) 6. 000kg

ニシ製(Nishi)	F291A φ120	2	
ニシ製(Nishi)	F291 φ117	6	

女子砲丸(Women Shot) 4. 000kg

ニシ製(Nishi)	F253C φ109	5	
ニシ製(Nishi)	F253 φ103	2	

男子円盤(Men Discus) 1. 750kg

ニシ製(Nishi)	F304B φ210. 5 スーパー	6	
ニシ製(Nishi)	F334 φ210. 5 スーパーハイモーメント	3	

女子円盤(Women Discus) 1. 000kg

ニシ製(Nishi)	F303B φ181. 5 スーパー	2	
ニシ製(Nishi)	F333A φ181. 5 スーパーハイモーメント	4	

男子やり(Men Javelin) 800g

ニシ製(Nishi)	F457 マ・イン90	1	
ニシ製(Nishi)	F453C スーパー80	2	
ニシ製(Nishi)	F454C ロング70	1	
ニシ製(Nishi)	F455C ミディアム60	1	
	NORDIC MASTER70	2	
	NORDIC MASTER60	2	
	NORDIC SUPER ELITE80	1	
	NORDIC SUPER ELITE90	1	
	C769 チャンピオンカーボン	2	
	C768 サンドビックオービットカーボン	2	
	C762 ノルディックチャンピオン100	2	
	C761 ノルディックオービット100	2	
	C760 ノルディックエアグライダー100	2	

女子やり(Women Javelin) 600g

ニシ製(Nishi)	F463C スーパーDR	2	
ニシ製(Nishi)	F464C ロングDR	1	
ニシ製(Nishi)	F464D ロング50	1	
ニシ製(Nishi)	F465C ミディアムDR	2	
	NORDIC DIANA70	1	
	NORDIC DIANA60	3	
	NORDIC STAR50 STEEL	1	
	GILL Pacer HELD	1	
	アポロ OLYMPIC GOLD	1	
ニシ製(Nishi)	F463D スーパー	1	
ニシ製(Nishi)	F465D ミディアム	2	
	C777C ノルディックダイアナカーボン80	2	
	C771C ノルディックダイアナ80	2	
	C775C NORDIC STAR50	1	
	C772C サンドビックダイアナ70	1	